

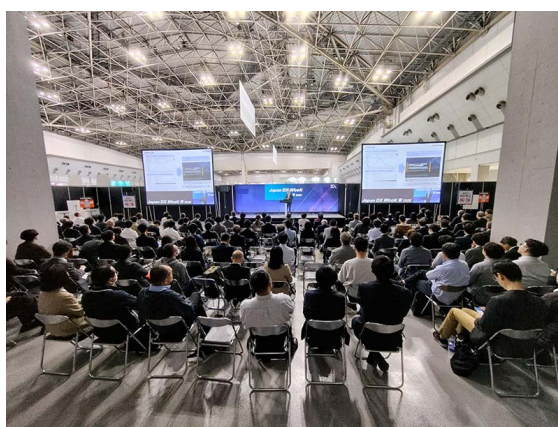
Japan DX Week 春 2026

第9回

AI・業務自動化展 春

「Japan DX Week 【春】 2026」に出展しました

カンファレンスも大盛況、当社技術・サービスへの関心高まる



ソフトロードは、2026年4月8日(水)～10日(金)の3日間、東京ビックサイトで開催された「Japan DX Week 春」内の「第9回 AI・業務自動化展 春」に出展しました。この展示会は、AI・業務自動化展、社内業務 DX EXPO、データドリブン経営 EXPO、現場 DX EXPO の4展で構成される日本最大級の IT・DX 総合展です。生成 AI 活用、業務効率化といったテーマでのカンファレンスや出展社によるセミナーなども実施されました。

ソフトロードは、ブース出展とセミナーで参加しました。ブースでは、ルールベース AI 技術を活用した高度なマイグレーションサービスをアピール。メインフレームからの移行、VB から Java への移行など、さまざまなマイグレーションのパターンと当社が誇る豊富なマイグレーション実績をパネルや資料で紹介し、老朽化したレガシーシステムでお悩みの企業や、マイグレーションを検討中の企業などから注目を集めました。当社ブースにお立ち寄りいただいた企業の担当者の皆様には、改めてお礼申し上げます。

最終日に行われたカンファレンスは、株式会社レイヤーズ・コンサルティングと共同で実施。大勢の受講者が詰めかけ、広い会場を埋め尽くして熱気に溢れたカンファレンスとなりました。前半に登壇したのは、レイヤーズ・コンサルティングの取締役、システム営業本部本

部長である加藤道隆氏。「AI 活用の必須前提となる基幹システム」という演題で講演した加藤氏は、DX/IT 投資は活発だが、成功率が低く、その理由にレガシーシステムの存続がある、として詳細を解説し、業務もシステムもシンプルにすることが成功への道だと強調して、後半にバトンを渡しました。

後半は、当社代表取締役の大橋順二が「モダナイゼーションと業務改善のシステムリフォーム」という演題でマイクを握りました。大橋は、日本最大のシステム更新会社であるソフトロードの会社概要を紹介した後、レガシー系、オープン系それぞれが持つ課題を挙げながら、解決策としての AI について、そのメリットや当社の技術的優位性などを解説しました。ほぼ満席の会場では、聴講者が熱心に講演に聴き入ったりメモを取ったりする光景も見られました。

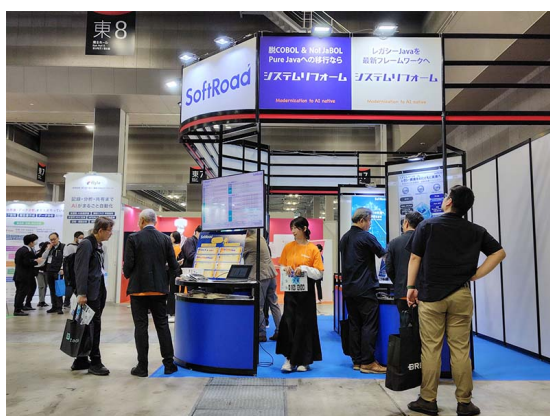
当社では、今後もこうしたイベントに参加し、展示やセミナーなどで当社の技術やソリューションの訴求に努めてまいります。



東京ビッグサイトで3日間にわたって開催



IT・DX・AI 専門展が一堂に会した



当社は東 8 ホールにブース出展した



豊富な実績やサービスをパネルで紹介



多くの来場者にお立ち寄りいただいた



ご質問や相談にも対応させていただいた



カンファレンスは大盛況



レイヤーズ・コンサルティングの加藤道隆氏



当社の大橋順二 代表取締役



多くの聴講者が熱心に聴き入った



ほぼ満席となったカンファレンス会場